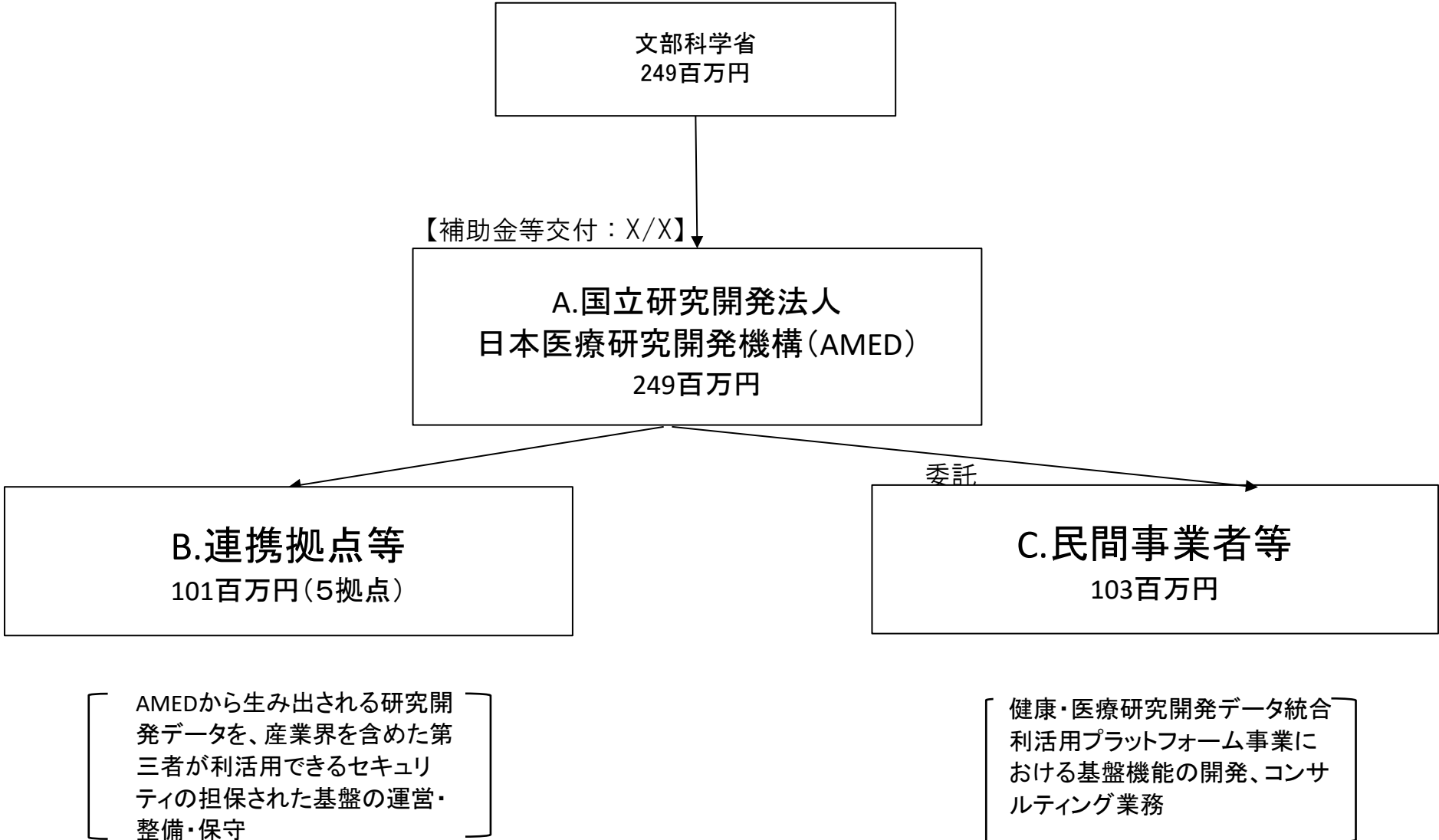


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 金井 宏行
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費、文教施設費		
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-3.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	健康・医療戦略に基づき、AMEDが支援する研究で得られたデータが、研究や疾病予防、医薬品・医療機器等の開発等の目的において幅広く活用できるようにするための、「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム」を構築する。						
現状・課題 (5行程度以内)	「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム」において、まずはいわゆる三大バイオバンクで取得されたゲノムデータから作成されたメタデータ(年齢・性別・出身地・疾患名)の横断検索を可能とする、連携基盤の構築を完了した。今後、塩基配列の検索を含むシステム開発を継続して実施する予定である。						
事業概要 (5行程度以内)	「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム」は、AMED が支援した研究開発から得られたデータの利活用を促進するためのプラットフォームであり、国内外の研究機関、医療機関、企業等が実施する、健康・医療に関する研究、医薬品等の開発、予防、これらに関わる人材の育成、ならびに保健医療政策の検討に資するものである。令和4年度以降、以下のサービスを提供する。 ① AMED が支援した研究開発データの検索(塩基配列の検索を含む) ② 既存の大規模計算機環境によるデータを扱う場 ③ 総合窓口機能 なお、上記3項のサービス提供にあたり、研究者が安心して安全に研究開発を推進するために必要なデータ利活用に関する環境整備を行う。						
事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/14/04/001.html						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率：定額】□						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	359	313	307
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	110	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲ 110	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	249	423	307	
	執行額(G)		-	-	249		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	-	69%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費					
	(目)	医療研究開発推進事業費補助金	313	307			
		その他					
	計(A)		313	307			

活動内容① (アクティビティ)		AMED事業から生み出される研究開発データを活用して、産業界を含めた第三者が利活用できるセキュリティの担保された基盤を構築する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		すでに我が国にあるデータ基盤と連携しつつ、AMED事業から生み出される研究開発データの、産業界を含めた第三者による利活用の促進	利活用した人数	活動実績	人	-	-	11	-	-	
				当初見込み	人	-	-	-	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム」の利活用した人数の増加によって、健康・医療分野の研究開発におけるプラットフォームの利活用件数も増加するため。□									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		AMED事業から生み出される研究開発データの、産業界を含めた第三者による利活用の実施	「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム」の利活用件数	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	20		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMEDにおいて、利活用の件数を調査する予定。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム」の利用人数の増加によって、健康・医療分野の研究開発が長期的に促進すると考えられるが、中期的ではなく、利用者の満足度を長年に測る必要があるため、長期アウトカムとした。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		AMED事業から生み出される研究開発データの、産業界を含めた第三者による利活用の実施	「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム」の利用満足度	成果実績	%	-	-	-	-		
				目標値	%	-	-	-	80		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMEDにて今後アンケート等で調査予定。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		国立研究開発法人日本医療研究開発機構のPD(プログラムディレクター)等の意見を勘案し、各省及び執行機関の国立研究開発法人日本医療研究開発機構において適切かつ効率的な執行に努めた。					目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度実施)				
							-				
改善の 方向性		引き続き、関係省と連携の強化を図るとともに、国立研究開発法人日本医療研究開発機構によるマネジメントのもと、更なる効率化を図ることとする。									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業	249	その他	スハコンを構成するストレージ、計算ノードの保守運用	47.3
計		249	計		47.3
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	連携基盤の構築、保守運用	87.3			
計		87.3	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

